

【小川北義務教育学校区】

〈令和6年度の取組〉

- ・入学式、新入生歓迎会、体育祭、北創祭、縦割り班縄跳び大会、9年生を送る会、卒業式を全校児童生徒で行うことで、一体感を感じられる学校を目指しました。
- ・後期課程の教師が前期課程で授業を行う「教科担任制」を導入することで、教師の専門性を生かした魅力ある授業を展開しました。また、多くの教師が関わることで、児童生徒に対する共通理解を図ることができました。
- ・「自分の考えを表現できる児童生徒の育成」を目指して、全職員で校内研修に取り組みました。互いに授業を見合う授業研究会を通して、学習意欲を喚起する課題設定の工夫をしたり、ICTを効果的に活用したりするなどして、協働学習を充実させることができました。



前期と後期の教職員による校内研修の様子



全校児童生徒で取り組む「体育祭」の様子

〈令和6年度の成果と課題〉

(成果)

- 様々な行事で異学年交流をする中で、上級生が下級生を支えるなど、互いに励まし合うことができました。「友達に優しい心で接している」の設問には、95%の児童生徒が肯定的な回答をしました。
- 各教科で専門性を生かした授業を実践することができました。その結果、「授業の内容が理解できていますか」の設問に、89%の児童生徒が肯定的な回答をしました。

(課題)

- 学習への動機付けや短期目標を設定し、自主学習や宿題に自分から取り組めるようにすることです。

前期課程への乗り入れ授業については、後期課程の教師が児童理解をする機会となり、効果的な支援や対応策について、担任と協力して考えることができました。

